

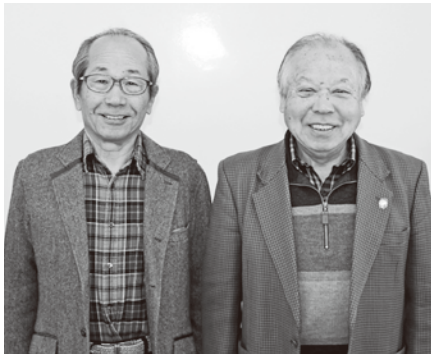
地域づくりナビ 発信!

【生活支援体制整備事業 明治市民センター地区の取り組み】

あいさつで 人と人をつなげよう

誰もが住みやすく、また支え合うことができる地域づくりを進めている中、明治地区では「あいさつ」を中心とした取り組みがスタートしています。

なぜ、「あいさつ」を取り上げることになったのでしょうか。話し合ってきたメンバーに振り返ってもらいました。



左からメンバーの大橋哲夫さん、佐橋勝利さん

話し合いの中で、昔と比べて隣近所の関わりが薄れてきたことや、核家族化・高齢化が進んできたことによって色々な問題が発生してきたと課題が挙げられました。そのため、これからは関わりを強くしていくことが大切だ、という話になりました。

そこで人と人をつなげる力のある「あいさつ」の輪を広げて、お互いに支え合える地区にしていきたいと考えました。

地域の方々が自然と行っている関わり合いが、地域住民同士のつながりを深めることにつながっていくんですね。



地域ぐるみのあいさつが浸透すると、お互いのつながりが深まり連帯感が出てきます。このことが日頃のちょっとした助け合いや災害時の安否確認に結びついたり、また空き巣などの犯罪抑止に期待が持てます。

これからは、改めて「あいさつ」を意識して行い、いざという時に助け合える地域になっていけるようにしていきたいと思っています。

明治地区では、あいさつの取り組みを今後も進めていく計画です。
地域づくりに関するご相談は、稲沢市社会福祉協議会まで。